

I. 地区の概要

本地区は、福井県福井市の南部に位置し、一級河川日野川および浅水川を農業用水の取水源とする穀倉地域である。地域内には、国道 8 号・北陸自動車道・JR 北陸本線が通り、混住化・農業離れが進展する一方で、農事組合法人や集落営農による農地集積と、希少種を含めた多くの魚類等が生息する豊かな自然環境との共生を目指した地域づくりを行っている。本地区は、歴史も古く、慶長国絵図では「主計郷」と記され、中世には山内筑後守により「主計用水」と呼ばれる灌漑用水が開削され、現在(主計揚水機場・幹線用水路)に引継がれている。

| | | | |
|-------|--------------------------------|---------|---|
| ◇活動内容 | 農地維持 資源向上（共同） 資源向上（長寿命化） | ◇取組面積 | 田 216.73ha 畑 0.17ha |
| ◇集落数 | 13集落 | ◇組織の構成員 | 農家戸数 137戸 非農家戸数 627戸 参加団体 5団体 自治会、農家組合、営農法人、集落営農組合、土地改良区 |

II. 主な取り組み

【農地維持】

◆これからの地域づくりを展開するため、土地改良施設の保管理体制の維持・強化、農村環境の保全・向上を掲げ、土地改良区が主体となって活動。

◆基礎的な保管理体制による綺麗な農村づくり(地域ぐるみによる徹底した草刈りや泥上げ等)、自然環境と共生した地域づくり、足腰の強い営農体制づくり(農地集積率100%を目標とした1水系1農場化の推進)により、施設管理・維持保全・営農が三位一体となった体制構築を目指し、後世へより良い状態へ引継ぐため、取組んでいる。



【資源向上（共同）】

◆希少種を含めた魚類等の生息状況の把握・監視、外来種駆除のため水路等での生物調査を子供会等と連携。

◆草刈り作業の労力削減のため水路法面等の雑草抑制対策(防草シート等)と合わせた景観植物の植栽等に取り組んでいる。

◆平成 18 年から補給水地区とし日野川用水の供給が開始。良質な農作物には新鮮で綺麗な水が欠かせないことから、本制度

を活用し、保全対策が必要となった際の検討基礎資料とするため、地域を流れる用排水の水質を定点観測(モニタリング調査・記録管理)している。



【資源向上（長寿命化）】

◆将来に亘る計画的で効果的な施設整備を図るため、土地改良事業で実施する施設(取水堰・揚水機場・幹線用水路等)と、多面的機能支払交付金で実施する施設(末端水路・農道等)を明確化。多面的機能支払交付金で整備する場合においても、地元負担(工事費の 8%)を設定し、土地改良区による他事業との整理や優先順位の設定による計画策定と工事発注を行う体制としている。また、小規模水路では直営施工による布設替えを実施する等、技術修得にも取り組んでいる。

施設の長寿命化対策の実施方法

| 事業名 | 対象する施設 |
|--------------|-------------------------|
| 資源向上支払(長寿命化) | 末端用排水路、農道、仕切弁・空気弁等 |
| 他事業 | 揚水機場、幹線用水路、幹線排水路、パイプライン |

- ① 地元負担の設定 受益集落は工事費の8%を拠出する
- ② 優先順位の設定 原則、水路・農道・その他の順とする

